

2013年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	国際経営論						
科目区分	専門科目		単位数	2	開講時期	前期	
必修・選択の別	選択科目(経営プランニングコース)選択科目(地域マネジメントコース)選択科目(スポーツマネジメントコース)						
担当者	河 知延						
授業の到達目標 (シラバスから)	・グローバル化の進展について経済、経営の両側面の違いを説明できる。 ・グローバル化が進む中で、日本企業が直面している問題点について説明できる。 ・日本企業が海外進出によって直面している課題について説明できる。 ・国際的な事業活動の際に必要な管理能力について説明できる。						
日程と内容	第1回：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法） 第2回：グローバル化の進展（企業の国際化） 第3回：グローバル化の進展（多国籍化、グローバル化） 第4回：国際経営戦略の内容(1) 第5回：国際経営戦略の内容(2) 第6回：国際経営組織の構造(1) 第7回：国際経営組織の構造(2) 第8回：国際マーケティング(1) 第9回：国際マーケティング(2) 第10回：国際マーケティング(3) 第11回：海外生産 第12回：技術移転と海外研究開発 第13回：北米・欧州・アジアのなかの日本企業 第14回：グループ報告会 第15回：総括（問題点と今後の展開）						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション				
	課題	20%					
	演習		計			100%	
授業到達目標の達成度	授業の中で上記と達成目標を意識しながら授業内容やレポート、試験内容のカリキュラムを組んだために、授業内容全体を通して目標を達成することが出来た。また、受講者に対し、レポートや試験によって理解度を測定した結果、毎回出席しレポートに取り組んだ学生は概ね満足できる水準であった。						
反省点	実際の事例を具体的に考えながら理論を理解させるためにレポートの数を増やしたが、レポートに対する授業でのフォローが足りなかったようで、学生が難しいと感じたようである。レポートの本数やその後のフォローについて考えたい。						
来年度の計画	次年度はレポートをより分かりやすく改良し、学生が取り組みやすい形と回数を考える。また、今年度同様、レポートを発表できる場を設け、相互に議論が出来るように工夫したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	難しい内容であったにも拘わらず、優秀な学生が多く3年生対象だったこともあり、全部の項目で平均を上回っており4.0以上である。教員の評価も8.4であり問題ないと思われる。評価の理由や自由記述にも否定的なコメントはなかった。						
履修登録者数	81名	定期試験 受験者数	68名	合格者数	61名	合格率	90%